

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.		17-	2
事業名	文化振興諸経費	会計 一般	款 10
政策	6 人生を豊かにするために	項 5	目 2
施策	6-3 文化力の向上	課名	社会教育課
		係名	生涯学習係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化団体（文化協会他）	目的（対象がどのような状態になっているか）	文化団体の自主・自立を促し育成することで、東員町の文化振興を推進する。
事業内容	文化振興団体の自主・自立を促進し育成することで、町の文化振興を推進する。各種団体が作品展示を行う文化祭の業務委託や歌舞伎文化の振興に関する事業への助成を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
1	文化に関する登録指導者数	34	34		人		50	
2								
3								
4								
5								
			令和3年度（決算）		令和5年度（決算）		令和5年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			9,275		9,892		9,602	
財源内訳	直接事業費A		6,239		6,310		6,392	
	うち一般財源		6,199		6,260		6,332	
人件費（千円）B			3,036		3,582		3,210	
内訳	一般職員（人・千円）		0.46	3036	0.54	3564	0.44	2904
	臨時職員（人・千円）		0	0	0.01	18	0.17	306

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	C 対象が広すぎる
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	時代のニーズに合った講座の開設と講師の確保に努め、併せて開催日時やスタイル（リモート等）など新たな企画・運営に取り組む。	③取組の課題	多様で住民ニーズに対応した公民館講座の開設と受講者の獲得を図るため、内容と手法（リモート等）の変革と幅広い年齢層の講師や会員の獲得が課題。
②R4年度に実施した取り組み	従来の前期後期通期の講座に加え、1回講座（1day）を取り入れ開催。また新たにリモートでの講座を1講座開催した。	④今後の改善計画	（一社）東員町文化協会による幅広い年齢層の会員獲得に向けての助言や支援を行う。併せて多様な公民館講座の開設に向けての助言等行う。